

ふりかえりプリント 10月第4週⑤

答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$270 \div 90 = \boxed{}$$

$$480 \div 80 = \boxed{}$$

② 20と30の最大公約数はいくつですか。

答え

③ 計算をしましょう。

$$\frac{5}{6} \times \frac{3}{10} =$$

答え

④ あるクラスの男子と女子の人数の比は4:5です。男子が16人のとき、女子は何人ですか。

答え

B 図形・量と測定

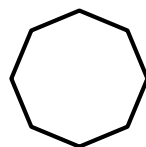
① 直角2つ分の角は何度ですか。

答え

② 1m³は何cm³ですか。

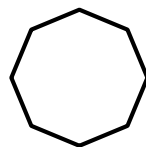
答え

③ この正八角形の対称の軸は何本ありますか。



答え

④ この正八角形は、点対称な図形ですか。「はい」か「いいえ」で答えましょう。



答え

C 変化とデータ

① 15mは5mの何倍ですか。

答え

② 1mが60円のリボンを5m買うと、代金は何円ですか。

答え

③ たてがxcm、横が6cmの長方形の面積を、xを使った式で表しましょう。

答え

④ 5、6、7の3まいのカードをならべて作れる3けたの数は、何通りありますか。

答え

こたえ（おもて）

A

① $270 \div 90 = 3$

$480 \div 80 = 6$

② 10

③ $\frac{5}{6} \times \frac{3}{10} = \frac{1}{4}$

④ 20人

B

① 180度

② 1000000cm³

③ 8本

④ はい

C

① 3倍

② 300円

③ $x \times 6$

④ 6通り

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

6年 10月4週 (5) |

①=4年 ②=5年

③④=6年

6-10-4-5 v2



まちがいをみつけたら教えてください

じゅうににん きゅうしよくとうばん
十二人の給食当番

名前

音読サイン

給食当番は十二人。仕事は、おかずやごはんを配る係と、食かんや食器を運ぶ係の二つだ。ぼくらは長い間、六人ずつに分けてきた。半分ずつなら公平だと、だれも疑わなかった。けれど毎日、配る係の前には長い列ができ、運ぶ係は早く終わって手が空いていた。文句を言う人はいなかった。ただ、待つ子はいつも待っていた。配り終わるころには、先に食べ始めた班がもう半分ほど食べていた。

十月のある日、副班長の莉子がストップウオッチを持ってきた。配り終わるまでに八分、運び終わるまでに四分。仕事の量は二対一だと分かった。十二人を二対一で分けると、八人と四人になる。

次の週から、そのとおりにしてみた。配る列は短くなり、給食を食べ始める時こくが三分早くなった。同じ人数で分けていたときは、公平に見えて、実は待つ子を作っていたのだ。

それでも莉子は「これで終わりじゃない」と言った。配る係は立ちっぱなしで、運ぶ係よりつかれる。だから週ごとに入れかわることにした。分け方が正しくても、同じ人がずっと重いほうにいてるのは、公平とは言えないからだ。公平は、一度決めて終わりにできるものではないらしい。

(1) 「文句」の意味に合うものを選び、記号に○をつけよう。

ア みんなで決めたやくそく
イ 不満に思う気持ちを言葉にしたもの
ウ 人をほめるときの言い方
エ 係の仕事を書いた表

(2) 六人ずつに分けていたとき、どんなことが起きていましたか。一つ選び、記号に○をつけよう。
ア 運ぶ係だけがおそくなっていた
イ 配る係の前に列ができ、運ぶ係は手が空いていた
ウ 当番を休む子がふえていた
エ 食かんが足りなくなっていた

(3) 配る仕事と運ぶ仕事の量の比を、文章から三字で書きぬきましよう。

(4) 週ごとに入れかわることにしたのは、なぜですか。文章の言葉を使って書きましよう。

--	--	--	--	--

書くときのポイント

「くから。」でお知らせる。
「公平」という言葉を必ず使う。

こたえ (うら)

- 問1 イ
問2 イ
問3 二対一
問4 (例) 分け方が正しくても、同じ人がずっと重いほうにいてのでは公平とは言えないから。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとびったり同じなら○。
問4は〈同じ人がずっと重いほう〉が書いていれば○。

6-10-4-5 v2

6年 物語文